

第2学年 算数科

3けたの数

「100より大きい数をしらべよう」

②場の工夫

より良い数え方に気付くことが、学びの深まりにつながるだろうと考えました。

そこで、初めは個人、次にグループで数えることでいろいろな数え方を知る機会を作りました。その後、学級全体で数え方を発表することで、どの数え方がより良いかを確認める場を作りました。



④成果（児童の変容）

全体の個数を10個ずつのまとまりにし、10個ずつのまとまりが10できたときは、さらにそれを10ずつまとめて100個のまとまりにするという操作を通して、数の十進構造を理解しました。また、10や100を単位として、それらがいくつ集まった数かとみられるようになりました。

低学年 目指す児童像 自分の考えをもち、書いたり発言したりできる子

①授業の内容

数え棒のつかみ取りゲームをグループ戦で行い、どのグループが一番多く取れたか、数え方を工夫して、わかりやすく表しました。

その後、グループごとに数え方を発表し、100のまとまりがいくつあるかを確認して、3位数の読み方、表し方を学びました。



③教材の工夫

たくさんの数え棒やブロックを正確に効率的に数えるための知恵を進んで出し合うように、必然性が生まれるようなゲーム形式を取り入れる工夫をしました。また、輪ゴム、皿、ビニール袋等を用意し、100のまとまりを作って数えることのよさに気付くことができる教材を用意しました。

